

第8回 四大学連合文化講演会

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学

環境・社会・人間における「安全・安心」を探る

—安全で安心の出来る社会—

～学術研究の最前線をやさしく解説する～

「対テロ戦争」が続く時代の安心・安全 —海外に暮らす日本人をどうやって守るのか—



東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所
教授

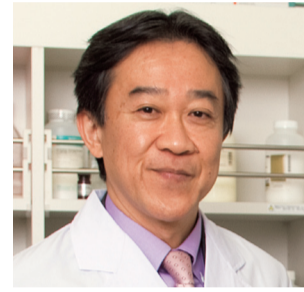
い い づ か ま さ と
飯塚正人

1月のアルジェリア人質テロ事件をきっかけに、「対テロ戦争」のなかで、海外に住む日本人の安全をどうやって守るのがあらためて問われている。決め手となる対策が見当たらないなか、この講演では「対テロ戦争」の実態にまで踏み込んで、安全確保の方策を考える。

1960年生まれ。東京大学大学院人文科学系研究科博士課程中退。在エジプト日本国大使館専門調査員、東京大学文学部助手を経て、1994年より東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所に所属。専門はイスラーム学、特に近現代におけるイスラーム政治思想と政治運動を中心とする中東政治。『現代イスラーム思想の源流』（山川出版社世界史リブレット）、『「対テロ戦争」とイスラーム世界』（岩波新書：共著）、『イスラーム世界がよくわかる Q&A 100 人々の暮らし・経済・社会』（亜紀書房：共編著）をはじめ、著書・監修書など多数。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/~masato/>

超分子骨格の特性を活かした バイオマテリアルの創発



東京医科歯科大学
生体材料工学研究所
教授

ゆ い の ぶ ひ こ
由井伸彦

再生医療や遺伝子治療など最先端医療の実現には、タンパク質・細胞レベルにおける生体機能の調節が不可欠である。ナノスケールオーダーでの分子骨格を活かしたバイオマテリアルには、生体機能の本質を自在に調節できるポテンシャルがある。

1985年3月上智大学大学院理工学研究科応用化学専攻修了、工学博士。東京女子医科大学助手、トゥエンテ大学（オランダ）博士研究員、北陸先端科学技術大学院大学助教授、同教授を経て、2011年1月より現職。北陸先端科学技術大学院大学名誉教授、日本バイオマテリアル学会常任理事、国際バイオマテリアル学会連合 Fellow。専門はバイオマテリアル科学。

<http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/index.html>

<http://www.labonet.info/yui/>

脳の運動学習機能とその応用



東京工業大学
精密工学研究所
教授

こ い け や す は る
小池康晴

ヒトは生まれたときから環境との相互作用によって様々な運動機能を学習している。脳の運動学習機能を計算機上で模擬し、その結果を用いて大人になっても新たな機能を獲得する脳の学習機能を紹介する。

1987年東京工業大学工学部情報工学科卒業。1989年同大学院修士課程修了。同年トヨタ自動車（株）入社、1991年ATR視聴覚機構研究所出向、1992年ATR人間情報通信研究所。1996年博士（工学）取得 東京工業大学。1998年東京工業大学精密工学研究所助教授、2000年科学技術振興機構さきがけ21の兼任、2003年から科学技術振興機構 CREST分担者、2009年精密工学研究所教授、2009年からCREST代表者。2010年ソリューション研究機構教授。ヒューマンインタフェース、運動制御の神経回路網に関する研究に従事（工博）。

<http://www.cns.pi.titech.ac.jp/Klab/>

米国の鏡を通して見た日本の経済政策



一橋大学
経済研究所
教授

い わ い さ こ と く お
祝迫得夫

日本経済が直面する困難な諸問題に正しく対処するためには、経済政策の妥当性を客観的に評価することが重要である。そのために、まず米国経済が直面する問題を概観し、それとの対比において我が国の経済政策のあるべき姿について考える。

1966年生まれ。90年一橋大学経済学部卒業、97年ハーバード大学大学院経済学研究科修了（Ph.D取得）。筑波大学社会工学系講師、一橋大学経済研究所・准教授、財務省財務総合政策研究所総括主任研究官を経て、2012年より現職。専門はファイナンス、マクロ経済学、アメリカ金融史。著書に『家計・企業の金融行動と日本経済—ミクロの構造変化とマクロへの波及』、日本経済新聞出版社、2012年4月。

<https://sites.google.com/site/tokuoiwaisako/home>

2013年10月11日(金) 13:00~16:30

場 所 一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

主 催 四大学連合

（東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京工業大学、一橋大学）

共 催 日本経済新聞社

企 画 四大学連合附置研究所

後 援 お茶の水会、東京外語会、蔵前工業会、如水会

定 員 500名（入場無料）

締 切 2013年9月27日（金）

お申込・お問い合わせ先

一橋大学 経済研究所

〒180-8603 東京都国立市中 2-1

Tel : 042-580-8327 Fax : 042-580-8333

Email : yondai8@ier.hit-u.ac.jp

URL : <https://hrs.ad.hit-u.ac.jp/entries/add/891>

プログラム

12:20 開場

13:00~13:10 開会挨拶 一橋大学 学長

13:10~13:20 来賓挨拶 文部科学省

13:20~14:00 東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 教授 飯塚正人

「対テロ戦争」が続く時代の安心・安全

—海外に暮らす日本人をどうやって守るのか—

14:00~14:40 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授 由井伸彦

「超分子骨格の特性を活かしたバイオマテリアルの創発」

14:40~15:00 休憩

15:00~15:40 東京工業大学 精密工学研究所 教授 小池康晴

「脳の運動学習機能とその応用」

15:40~16:20 一橋大学 経済研究所 教授 祝迫得夫

「米国の鏡を通して見た日本の経済政策」

16:20~16:30 閉会挨拶 東京工業大学 学長